

鹿工(女子団体) 2連覇 7戦全勝

弓道

(県武道館)

▽女子団体決勝リーグ(140射) ①鹿工(小田口、宮下、川崎、川路、鍋谷、上妻、福盛) 7勝 ②総的中数112中 ③樟南4勝3敗 ④鹿南4勝3敗 ⑤鹿見島3勝4敗 ⑥鹿屋女2勝5敗 ⑦鶴丸1勝6敗 ⑧伊集院1勝6敗 ⑨61中

※同勝敗は的中数による

▽同個人 ①石野咲希(鹿南) ②佐藤(加治木工) ③宮下(鹿工) ④鷹木(加治木工) ⑤川上(樟南) ※団体1位、個人2位までが全国大会(8月6、9日・徳島県)、団体2位までと個人5位までが九州大会(7月2、3日・福岡県)に出場

【評】上位8校による決勝リーグは、鹿工が7戦全勝(総的中数112中)で制した。予選1位通過の鹿屋女は勝ち星を積み上げられず6位だった。



女子団体決勝リーグを7戦全勝で優勝した鹿児島工 二県武道館

的中差で他を圧倒

○女子団体決勝リーグは鹿工が全勝で圧倒、2位に総的中差25を付け連覇を飾った。

上位8校総当たり戦、初戦で最大のライバル・加治木工とぶつかる。新チーム結成後、県選手権と県新人大会の優勝を分け合った両校だ。「意識するな、というのが無理な話」(宮下主将)。リーグ7戦で最少となる20射中14中にとどまりながら、1中差で下すと、ここからは優勝へ一直

線。最終戦も18中で締めくくった。

昨年の全国総体は緊張から射が縮み、決勝トーナメント初戦負け。以来、先輩も後輩も関係なく、家族のような絆を育んできた。

福富文明監督が「選手たちと8月まで過ごせるのが一番うれしい」と喜べば、2年で主将を務め、リーグ28射全中を決めた宮下も「優勝して3年生を笑顔で送り出す」。全国の借りは全国で返す。決意は揺るがない。

(堀 巨)